

教育普及プログラム

こども・ファミリー向けプログラム

福岡ミュージアムウィーク2026
「国際博物館の日」(5月18日)にあわせて、さまざまな催しを行います。(5月16日～24日)

夏休みこども美術館
子どもと美術の出会いの場として、展示・ワークショップ等を開催。(下記もご覧ください)

ファミリー DAY
11月3日の開館記念日にあわせて親子で楽しめるワークショップや鑑賞プログラムを実施します。

ベビーカーツアー
赤ちゃんといっしょに作品を見ながら館内を楽しく散歩します。(年数回開催します)

学校向けプログラム

スクールツアー
ボランティアによる児童・生徒向け対話型鑑賞ツアーです。

どこでも美術館
鑑賞教材の貸出しや、アウトリーチプログラムを行います。

大人向けプログラム

ギャラリーツアー

当館のボランティアがコレクション展から選んだ3作品を、皆さんと対話をしながら一緒に鑑賞します。(休館日を除く毎日11:00～14:00～)

つきなみ講座

月1回、学芸員が自身の研究などについて話す講座です。

いきヨウウ講座

美術を通して心をいきよませる65歳以上向け体験型講座です。(3月)

バリアフリーギャラリーツアー

視覚・聴覚障がい者などに向けてコレクション作品を紹介するツアーです。(10月～2月)

プログラムの内容や日程を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。詳しい日程やイベントの詳細は季刊誌『エスプラナード』および当館のホームページをご覧ください。

開館時間

午前9:30～午後5:30(7月～10月の金・土曜日は午前9:30～午後8:00)
※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
※臨時閉館・休館となる場合があるので、詳細は当館のホームページ等をご確認ください。

観覧料金

【コレクション展・企画展】
一般200円(150円)、高大生150円(100円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金。
※交通系ICカード、2次元コード・バーコード決済、クレジットカード等利用可。
◎以下の証明書等ご提示で観覧無料。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・デジタル障害者手帳「ミライロID」(以上は介護者1人を含む) / 特定医療費(指定難病)受給者証 / 特定疾患医療受給者証 / 先天性血液凝固因子障害等医療受給者証 / 小児慢性特定疾病医療受給者証 / 福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの(運転免許証等) / wa+club(わたすクラブ)会員カード
【特別展】 展覧会によって料金が異なります。

開館カレンダー

●=休館日 ■=開館時間延長日(～午後8:00)																							
4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S	6	S	M	T	W	T	F	S
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
26	27	28	29	30																			
7	S	M	T	W	T	F	S	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
26	27	28	29	30	31																		
10	S	M	T	W	T	F	S	11	S	M	T	W	T	F	S	12	S	M	T	W	T	F	S
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22					
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29					
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31										
25	26	27	28	29	30	31																	
1	S	M	T	W	T	F	S	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21					
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
24	25	26	27	28	29	30																	

Opening Hours

9:30 a.m.-5:30 p.m.
(Last admission at 5:00 p.m.)
Fri. and Sat. from Jul. to Oct. 9:30 a.m.-8:00 p.m.
(Last admission at 7:30 p.m.)

Closed Days

Mondays (or the following weekday if Monday falls on a national holiday)
Dec. 28-Jan. 4
*Closed days are subject to change.
Please visit the museum's website for the latest information.

Admission

[Collection Exhibition & Special Exhibition at Collection Gallery]
Adults: 200 yen (150 yen)
High school and university students: 150 yen (100 yen)
Junior high school students and younger children: Free
*Prices in parentheses are for visitors in a group of 20 or more.
*You can pay admission using transportation IC cards, two-dimensional code payment, barcode payment, or some of credit cards.

[Special Exhibition]

Admission varies according to the exhibition.

交通案内

【福岡市地下鉄】
空港線 大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、3・6番出口から徒歩10分
七隈線 六本松駅(科学館前)下車、2番出口から徒歩10分
【西鉄バス】博多駅から
(系統番号13) ●福岡市美術館東口下車、徒歩3分
(系統番号6・12・113・200～205・208) ●赤坂三丁目下車、徒歩5分
(系統番号6-1) ●福岡城・NHK放送センター入口下車、徒歩3分
【車】
福岡都市高速「西公園ランプ」から5分
福岡市美術館専用駐車場(普通車:1時間200円、バス:1回2,000円(要事前予約))
利用時間 午前9:00～午後9:00(開館日のみ)
※週末、祝日等は大変混み合います。公共の交通機関をご利用ください。

Access

[By Fukuoka City Subway]
10-minute walk from Exit 3 or 6 of Ohori Park (Fukuoka Art Museum) Station [K06] on the Airport Line.
10-minute walk from Exit 2 of Ropponmatsu (Science Museum) Station [N11] on the Nanakuma Line.
[By Nishitetsu Bus]
From Hakata Station
Bus No. 13: 3-minute walk from Fukuokashi Bijutsukan Higashiguchi bus stop.
Bus No. 6, 12, 113, 200-205, 208: 5-minute walk from Akasaka 3-chome bus stop.
Bus No.6-1: 3-minute walk from Fukuoka Castle Ruins and NHK Broadcasting Center bus stop.



〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051 (代表) FAX 092-714-6071
1-6 Ohori Koen, Chuo-ku, Fukuoka city
810-0051 Japan
Phone +81-(0)92-714-6051
Fax +81-(0)92-714-6071
https://www.fukuoka-art-museum.jp



FaN
Fukuoka Art Next

展覧会のご案内
EXHIBITION SCHEDULE

2026/4 April → 2027/3 March
(令和8) (令和9)



仙厓義梵《指月布袋図》(部分) 江戸時代19世紀 石村コレクション

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

特別展

小磯良平展—幻の名作《日本髪娘》
4月18日(土)～6月21日(日)

近代洋画の巨匠・小磯良平(1903-1988)は、古典的な美しさをたたえた人物画を数多く手がけました。本展は、小磯による“幻の名作”である《日本髪娘》(韓国国立中央博物館所蔵)とともに100点を超える小磯作品を展示し、彼の人物表現の魅力をお楽しみいただけます。



小磯良平《日本髪娘》1935年 韓国国立中央博物館所蔵

トーベとムーミン展—とっておきのものを探しに—
7月4日(土)～8月30日(日)

トーベ・ヤンソンの初期の油彩画から、第二次世界大戦期の風刺画、「ムーミン」の小説やコミックの原画、スケッチなど約300点の作品を通して、トーベの人生と創作世界を振り返ります。



左:トーベ・ヤンソン《煙草を吸う娘(自画像)》1940年 個人所蔵
右:トーベ・ヤンソン《遊び2(アウロラ病院小児病棟の壁画のためのコンペティション用スケッチ)》1955年 ヘルシンキ市立美術館所蔵

カルン・タカール・コレクション
インド更紗 世界をめぐる物語
10月17日(土)～12月20日(日)

インド更紗は、染色の困難な木綿に色鮮やかで大胆な文様を染め上げる技術で世界を席巻しました。本展では、インド更紗が世界的な商品となって数百年という時の流れで変化していく姿を、ロンドン在住のカルン・タカール氏のコレクションの名品でたどります。



《白地人物草花文様更紗儀礼用布》17～18世紀
カルン・タカール・コレクション、ロンドン
Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley

企画展

企画展×福岡現代作家ファイル2026
山内光枝展 潮ノ記

9月8日(火)～12月20日(日) 近現代美術室B
福岡を拠点に、海に生きる人の生活や文化に焦点を当てた作品を制作している山内光枝(1982-)の個展。様々な表現方法によって海女の姿を見つめ、海と人との関係をとらえてきた作品をご紹介します。



山内光枝《つれ潮》2018年

カンボジアの染織
12月2日(水)～2月7日(日)
古美術企画展示室

カンボジアは石造建築や彫刻だけでなく、染織の分野においても素晴らしい伝統があり、特に、絹の緯織は絵画的な表現を可能にするほどの繊細な技術で世界的に知られています。当館のコレクションを中心に緯織や紋織、絞などの名品を展示します。



《龍動物文様緯織儀礼用布》(部分) カンボジア 19～20世紀

特別展示室 Special Exhibition Gallery		4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	2027 1 Jan	2 Feb	3 Mar	
コレクション展示室 Collection Galleries: Modern and Contemporary Art	近現代美術室A Modern and Contemporary Art A	小磯良平展 —幻の名作《日本髪の娘》 KOISO RYOHEI: Illusory Masterpiece <i>Girl with a Japanese Hair Style</i> 4月18日(土) - 6月21日(日)	トーベとムーミン展 —とっておきのものを探しに— TOVE JANSSON AND THE MOOMINS 7月4日(土) - 8月30日(日)	カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語 Chintz A Global Story: The Karun Thakar Collection 10月17日(土) - 12月20日(日)	『時をかける少女』20周年記念 細田守の原点/展 The Creative Origins of Mamoru Hosoda 1月22日(金) - 3月28日(日) お問い合わせ: 西日本新聞イベントサービス TEL 092-711-5491 (平日9:30~17:30)	FaN Week 特別展示 コレクターズ展 The Collectors 9月19日(土) - 10月5日(月)								
	近現代美術室B Modern and Contemporary Art B	コレクションハイライト - 6月21日(日)	新収蔵品展 Exhibition of New Collections 3月24日(火) - 6月21日(日) ②	コレクションハイライト 2026 - 27 Collection Highlights 2026-27 6月30日(火) -	生誕150年 詩と絵の旅人—吉田博 Yoshida Hiroshi: Traveler, Poet, and Painter —The 150th Anniversary of His Birth 9月1日(火) - 12月20日(日) ③	没後90年 富田溪仙 Tomita Keisen: 90th Memorial Exhibition 12月22日(火) - 3月22日(月・振休)	夏休みこども美術館2026 宇宙にいきたい Children's Art Museum during Summer Vacation 2026 Into Space 6月30日(火) - 8月30日(日)		企画展×福岡現代作家ファイル2026 山内光枝展 潮ノ記 Special Exhibition x Fukuoka Contemporary Artists File 2026 Yamauchi Terue: The Shore of Living and Dying 9月8日(火) - 12月20日(日)		鋤田正義 ファインダー越しの光 Sukita Masayoshi: The Light Through the Viewfinder 12月25日(金) - 3月22日(月・振休)		希望は自由なる組織に —デモクラート美術家協会の作家たち "Hope is for the Free": Artists from the Demokrato Artists Association 12月25日(金) - 3月22日(月・振休)	
	近現代美術室C Modern and Contemporary Art C	第4回福岡アートアワード 受賞作品展 The 4th Fukuoka Art Award Exhibition 3月28日(土) - 6月21日(日) ④ ※3月28日(土)は午後1:30から開室	コレクションハイライト - 6月28日(日)	コレクションハイライト 2026 - 27 Collection Highlights 2026-27 7月4日(土) - ①										
コレクション展示室 Collection Galleries: Pre-Modern Art	古美術 企画展示室 Japanese and Other Asian Art	ひゃっかきょうげん 百花競妍 A Hundred Blossoms Vying for Beauty 3月18日(水) - 5月24日(日)	本多コレクション インドシナ半島の古陶磁 Honda Collection: Antique Ceramics from Mainland Southeast Asia 5月27日(水) - 7月26日(日) ⑤	仙厓展 Exhibition of Sengai's Artworks 7月29日(水) - 11月29日(日)	肥前のやきもの —田中丸コレクションを中心に— Ceramics from the Hizen Region: Tanakamaru Collection and Others 9月30日(水) - 11月29日(日) ⑥		企画展 カンボジアの染織 Special Exhibition The Textiles of Cambodia 12月2日(水) - 2月7日(日)		やまと絵の世界 The World of Yamato-e 2月10日(水) - ⑦					
	松永記念館室 Matsunaga Memorial Tea Ceremony Collection	春の名品展 Spring Masterpieces 2026 3月24日(火) - 5月31日(日)	松永耳庵と仏教美術 Matsunaga Jian and Buddhist Art 6月2日(火) - 8月9日(日) ⑧	秋の名品展 Autumn Masterpieces 2026 8月11日(火・祝) - 10月19日(月)	松永耳庵 冬の茶事 Matsunaga Jian and Wintertime Tea Gatherings 10月22日(木) - 1月11日(月・祝)	茶道具と銘 Mei: The Practice of Naming Tea Utensils 1月13日(水) - 3月28日(日)								
	東光院仏教美術室 Tokoin Temple Buddhist Art	東光院のみほとけ Buddhist Art from Tokoin Temple 通期 Year-Round Exhibition												

※■=展示替えにより休室します。 ※会期や内容に変更が生じる場合があります。また、コレクション展は展示替えに伴い休室することがあります。来館前にホームページで最新情報をご確認ください。



① マーク・ロスコ《無題》1961年
©1998 Kate Rothko Prizel & Christopher Rothko / ARS, New York / JASPAR, Tokyo G4161



② 吉田博《霧の農家》1903年頃



③ 堅山南風《瓊美人》1919年



⑤《白褐袖刻花龍鳳凰文水注》
タイ15世紀



④ 宮本華子《在る家の日常》2024年



⑦ 土佐光起《飛千鳥四屏風》(左隻) 江戸時代 17世紀



⑧《菩薩半跏思惟像》(重要文化財)
飛鳥~奈良時代 7~8世紀



⑥《絵唐津菖蒲文茶碗》(重要文化財)
桃山時代16~17世紀 田中丸コレクション

コレクション展／近現代美術

近現代美術室A、C

コレクションハイライト 2026 - 27
A: 6月30日(火) -
C: 7月4日(土) -
主題も表現方法も拡張していった20世紀以降のアートの展開を、当館所蔵品を通してご紹介します。①

近現代美術室A

新収蔵品展
3月24日(火) - 6月21日(日)
令和7年度(2025)に新たに収蔵した近現代美術作品をご紹介します。②
生誕150年 詩と絵の旅人—吉田博

9月1日(火) - 12月20日(日)
日本国内のみならず、欧米やアフリカ、アジア各地にまで題材を探して旅した画家、吉田博。その旅から生まれた詩情豊かな絵画世界を、版画と水彩画でご紹介します。③
没後90年 富田溪仙
12月22日(火) - 3月22日(月・振休)
現在の博多区下川端町出身で、日本美術院を中心に活動した日本画家・富田溪仙(1879-1936)の作品をご紹介します。

「第4回福岡アートアワード」の受賞作家・作品をご紹介します。④
鋤田正義 ファインダー越しの光
12月25日(金) - 3月22日(月・振休)
世界的ミュージシャンのポートレートを数多く手がけた写真家・鋤田正義による、時代を象徴する写真の数々をご紹介します。
希望は自由なる組織に—デモクラート美術家協会の作家たち
12月25日(金) - 3月22日(月・振休)
1951年、瑛丸を中心に結成され、自由な創作を志向した美術団体・デモクラート美術家協会の作家たちの作品をご紹介します。

コレクション展／古美術

古美術企画展示室

百花競妍
3月18日(水) - 5月24日(日)
当館所蔵の古美術作品から、花をモチーフに制作された絵画、陶磁、染織等を精選。日本・中国・タイの陶磁、インドネシアの染織、江戸時代の絵画・漆工などをご紹介します。
本多コレクション インドシナ半島の古陶磁
5月27日(水) - 7月26日(日)
インドシナ半島古陶磁の一大コレクションとして知られる本多コレクション。タイ、カンボジア、ミャンマーを中心に古陶磁の名品を精選します。⑤

新収蔵品展
5月27日(水) - 7月26日(日)
令和7年度(2025)に寄贈や購入によって新たに収集した古美術作品をご紹介します。
模倣と創造
7月29日(水) - 9月27日(日)
絵画、書、陶磁等のある作品と、その構図や形状等を参考または模倣して制作されたと思われる作品を並べて展示し、両者の相違に着目します。
仙厓展
7月29日(水) - 11月29日(日)
日本最初の禅宗寺院である博多の聖福寺の住職を務めたことで有名な仙厓義梵(1750-1837)は、親

しみやすい書画を通して禅の教えを人びとに分かりやすく伝えたことから「博多の仙厓さん」と呼ばれて慕われました。本展では仙厓さんの書画をご紹介します。(会期中大幅な展示替えあり)
肥前のやきもの—田中丸コレクションを中心に—
9月30日(水) - 11月29日(日)
当館に寄託されている田中丸コレクションに当館所蔵品を加え、唐津焼、伊万里焼、柿右衛門様式など、肥前の古陶磁の優品を展覧します。⑥
やまと絵の世界
2月10日(水) -

四季の移ろいや花鳥、そして名所を人びとに分かりやすく伝えたことから「博多の仙厓さん」と呼ばれて慕われました。本展では仙厓さんの書画をご紹介します。(会期中大幅な展示替えあり)
松永記念館室
春の名品展
3月24日(火) - 5月31日(日)
《吉野山図茶壺》(重要文化財)をはじめ、春に相応しい茶道具を松永コレクションの名品を中心にご紹介します。

仏画などの仏教美術の名品をご紹介します。あわせて、耳庵翁が仏教美術を用いた茶会もご紹介します。⑧
秋の名品展
8月11日(火・祝) - 10月19日(月)
尾形乾山《花籠図》(重要文化財)をはじめ、秋の情趣に相応しい名品を松永コレクションより精選してご紹介します。
松永耳庵 冬の茶事
10月22日(木) - 1月11日(月・祝)
仰木政斎『雲中庵茶会記』等に記録に基づき、松永耳庵が冬の季節に催した茶事の道具組を再現的に展示するほか、冬に相応しい茶道具をご紹介します。

茶道具と銘
1月13日(水) - 3月28日(日)
銘とは優れた茶道具に付けられた別名や尊称のことです。本展では、この銘に注目しながら松永コレクションの名品を中心にご紹介します。
東光院仏教美術室
東光院のみほとけ 通期
薬王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)に伝来した、薬師如来坐像(重要文化財)を含む多数の木彫像をご紹介します。(展示替えあり)